

分野別成果動向一覧 第1章「健康・福祉・子育て」

《施策別成果動向一覧》

節	番号	施策名	成果動向	まちづくり指標の推移						成果指標の推移							
				対基準値			対前年度			対基準値			対前年度				
				改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可
健康	1	個人の自主的な健康づくりを支援する	順調	3	0	0	2	0	1	3	0	0	0	0	1	2	0
	2	健康づくりを支援する社会環境をつくる	横ばい	1	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	3	0
地域医療	3	地域医療を守り、医療が身近なところで、安心して受けられる環境をつくる	横ばい	1	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	3	0
高齢者支援	4	地域で支えあう環境をつくる	横ばい	1	0	0	0	0	1	4	0	1	0	2	1	2	0
	5	高齢者の保健・介護・福祉サービスを充実させる	順調でない	1	0	0	0	0	1	4	0	2	0	1	0	5	0
障害者支援	6	障害者に対する理解を深める	順調でない	1	0	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1	0
	7	障害者の福祉サービスを充実させる	順調でない	2	0	0	0	0	2	4	0	0	0	1	0	3	0
子育て支援	8	結婚活動を応援し、子育て支援サービスを充実させる	順調	1	0	0	0	0	1	3	0	2	0	3	1	1	0
	9	子どもが健やかに育つ地域社会をつくる	順調でない	1	0	1	1	0	1	3	0	1	0	3	1	0	0

《まちづくり評価委員会の評価》

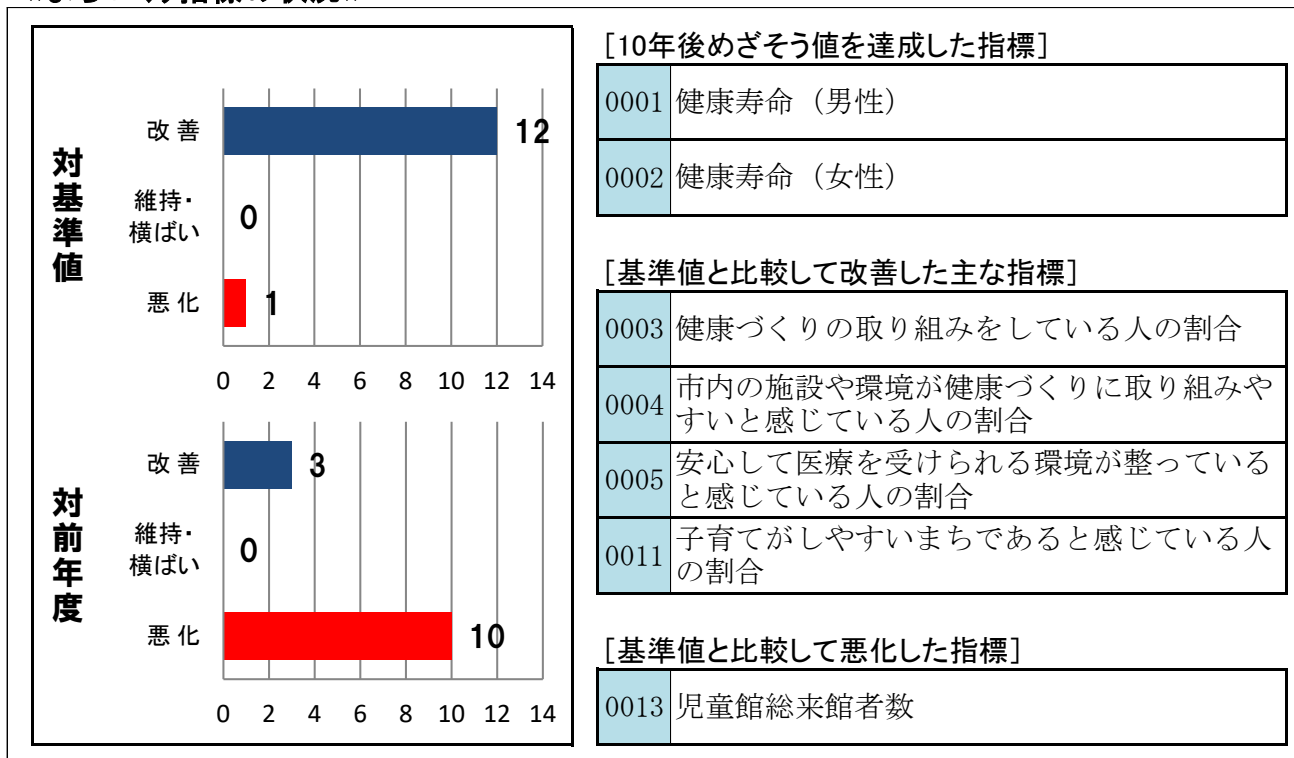
「健康・福祉・子育て」分野では、まちづくり指標等の動向から判断して、施策の成果動向は、「順調」が2施策、「横ばい」が3施策、「順調でない」が4施策となり、分野全体の成果動向は、「順調でない」と評価する。

健康応援ステーションをはじめとした市の健康づくりに対する取り組みの認知度向上のために周知方法の工夫が求められているほか、民間企業等と協力しながら市民の健康づくりへの取り組みを進める必要がある。

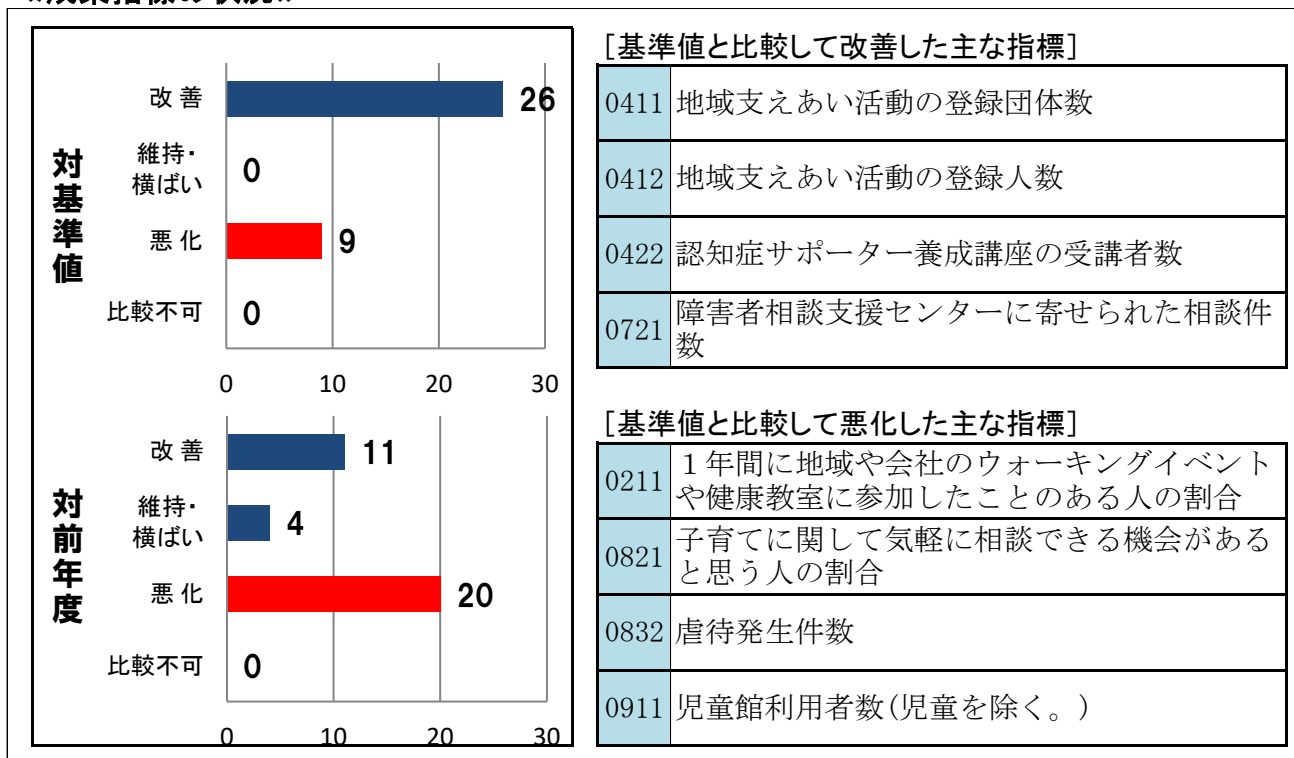
また、行政組織の横断的な連携を図るなど、介護、福祉サービスのニーズを的確に把握し取り組むとともに、介護、福祉サービスの利用方法の周知など、市民が利用しやすい環境の整備を進める必要がある。

- [施策1] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調」と評価する。
- [施策2～4] まちづくり指標、成果指標の動向から「横ばい」と評価する。
- [施策5～7] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調でない」と評価する。
- [施策8] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調」と評価する。
- [施策9] まちづくり指標、成果指標の動向から「順調でない」と評価する。

《まちづくり指標の状況》



《成果指標の状況》



《第1章「健康・福祉・子育て」指標の状況》

【まちづくり指標】「健康寿命（男性・女性）」が10年後めざそう値（R5(2023)）を達成したほか、「健康づくりの取り組みをしている人の割合」など、基準値と比較して12指標、分野全体で92.3%が改善した。

一方、基準値以下となった指標は「児童館総来館者数」1指標（7.7%）となった。

【成果指標】「地域支えあい活動の登録団体数」はじめ26指標、分野全体で74.3%が基準値より改善した。また、基準値以下となった指標は、9指標（25.7%）で、前年度より悪化した指標は、20指標（57.1%）となった。

章 01 健康・福祉・子育て

理念 いきいき

節 01 健康

施策 01 個人の自主的な健康づくりを支援する

施策主管課 【健康推進課】

めざすまちの姿

だれもが自ら健康的な生活を心がけている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

市民一人ひとりが、いきいきと自立した生活を送るためには、生活習慣病などの疾病を予防し、健康の維持・増進を図っていくことが重要であり、「東海市いきいき元気で健康長寿のまちづくり条例」に基づき、健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、健康づくりに必要な環境の整備や個人の健康状態に合った生活習慣の見直しの支援を行い、健康寿命の延伸を図ります。

施策実現のための財源投入状況

(単位:千円)

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	健康への意識づけと取り組みを支援する	48,578	45,036
02	疾病の早期発見に努め重症化を予防する	243,918	231,912
	施策合計	292,496	276,948

まちづくり指標の分析

No	—	No	0003
	0001 健康寿命 (男性)		健康づくりの取り組みをしている人の割合
方向性	➔ 0002 健康寿命 (女性)	方向性	➔

[歳]

年	男性	女性
H24	78.55	82.77
H26	78.89	82.69
H28	79.45	82.83
H30	79.78	83.13
R02	79.90	83.64
R04	80.32	84.24

[年]

[%]

年	割合
H24	49.9
H26	55.6
H28	55.8
H30	57.2
R02	55.9
R04	61.0

[年]

対基準値：男性1.77歳増、女性1.59歳増／基準値からの推移：男性○、女性○
10年後めざそう値達成率：男性122.1%、女性129.3%
要因：継続的に実施している健康づくりに関する意識の向上や、取り組みを支援する環境整備を進めてきたことによると考える。

対基準値：6.5ポイント増／基準値からの推移：○
10年後めざそう値達成率：58.6%、男女別：差異無
年齢別：差異有、職業別：差異有、地区別：差異無
要因：年齢に伴い、自身の健康状態について関心が高まっていると想定。

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、順調と評価する。

「健康寿命」は男性・女性ともにめざそう値を達成しており、男性は基準値から1.77歳向上し、女性は基準値から1.59歳向上した。「健康づくりの取り組みをしている人の割合」は基準値を6.5ポイント上回った。基準値より向上している要因は、近年の健康志向の高まりによるものと考えられる。

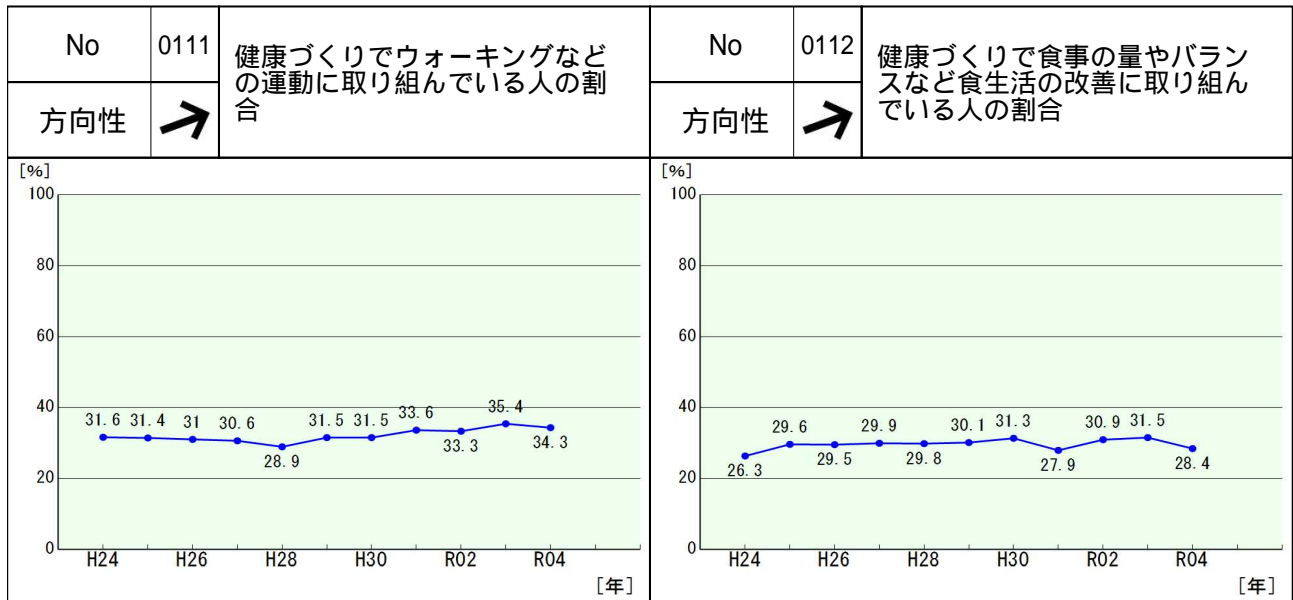
今後は、新型コロナウイルス感染症の流行以前の取り組みを再開し、さらなる健康意識の向上を図っていく。

施策 01 個人の自主的な健康づくりを支援する

単位施策 01 健康への意識づけと取り組みを支援する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
 「健康づくりでウォーキングなどの運動に取り組んでいる人の割合」は基準値から2.7ポイント向上している。その理由としては、近年の健康志向の高まりによるものと考える。「健康づくりで食事の量やバランスなど食生活の改善に取り組んでいる人の割合」は、基準値から2.1ポイント向上している。特に16～19歳と学生層で大きな向上が一因と考える。
 今後も市民の健康への意識づけと関心を高めていくため、各種事業を継続していく。

施策 01 個人の自主的な健康づくりを支援する
 単位施策 02 疾病の早期発見に努め重症化を予防する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移

No	0121	年に1回は健康診断を受けている人の割合	No																									
方向性	➔		方向性																									
<table border="1"> <caption>健康診断を受けている人の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>72.8</td></tr> <tr><td>H25</td><td>71.4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>75.2</td></tr> <tr><td>H27</td><td>76</td></tr> <tr><td>H28</td><td>74.6</td></tr> <tr><td>H29</td><td>77.1</td></tr> <tr><td>H30</td><td>75.1</td></tr> <tr><td>H31</td><td>75.5</td></tr> <tr><td>H32</td><td>76.1</td></tr> <tr><td>H33</td><td>78.4</td></tr> <tr><td>H34</td><td>78.4</td></tr> </tbody> </table>		年	割合 [%]	H24	72.8	H25	71.4	H26	75.2	H27	76	H28	74.6	H29	77.1	H30	75.1	H31	75.5	H32	76.1	H33	78.4	H34	78.4			
年	割合 [%]																											
H24	72.8																											
H25	71.4																											
H26	75.2																											
H27	76																											
H28	74.6																											
H29	77.1																											
H30	75.1																											
H31	75.5																											
H32	76.1																											
H33	78.4																											
H34	78.4																											

No		No	
方向性		方向性	

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
 成果指標は、基準値から5.6ポイント増加し、前年度から増減なしとなった。基準値から増加した理由としては、普及啓発の効果や個人の健康意識の高まりが原因と考える。どの年代も70から80ポイントの間を維持している。
 今後も疾病の早期発見のためには、年に1回は健康診断を受診することが大切であることから、幅広い年代の方へ積極的な働きかけを行う必要がある。

章 01 健康・福祉・子育て
 節 01 健康
 施策 02 健康づくりを支援する社会環境をつくる

理念 快適

施策主管課【健康推進課】

めざすまちの姿

健康づくりに取り組みやすい環境が整っている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

健康づくりの取り組みは、生活の場である地域などの環境が大きく影響するため、いきいき元気推進事業をはじめ健康づくりに取り組みやすい環境を整備するとともに、関係団体、事業所などが自主的に健康づくりを行うことができるよう支援します。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	健康づくりに取り組む団体などを育成する	426	424
02	健康づくりに取り組みやすい生活環境を整備する	330,641	329,436
施策合計		331,067	329,860

まちづくり指標の分析

No	0004	市内の施設や環境が健康づくりに取り組みやすいと感じている人の割合	No																														
方向性	➔		方向性																														
<table border="1"> <caption>まちづくり指標の分析データ</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>59.6</td></tr> <tr><td>H25</td><td>63.8</td></tr> <tr><td>H26</td><td>62.8</td></tr> <tr><td>H27</td><td>63.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>60.5</td></tr> <tr><td>H29</td><td>65.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>66.1</td></tr> <tr><td>H31</td><td>62</td></tr> <tr><td>H32</td><td>65.7</td></tr> <tr><td>R02</td><td>67</td></tr> <tr><td>R03</td><td>65.4</td></tr> <tr><td>R04</td><td>64.6</td></tr> <tr><td>R05</td><td>68</td></tr> </tbody> </table>			年	割合 [%]	H24	59.6	H25	63.8	H26	62.8	H27	63.5	H28	60.5	H29	65.2	H30	66.1	H31	62	H32	65.7	R02	67	R03	65.4	R04	64.6	R05	68			
年	割合 [%]																																
H24	59.6																																
H25	63.8																																
H26	62.8																																
H27	63.5																																
H28	60.5																																
H29	65.2																																
H30	66.1																																
H31	62																																
H32	65.7																																
R02	67																																
R03	65.4																																
R04	64.6																																
R05	68																																
<p>対基準値：5.0ポイント増 / 基準値からの推移： 10年後めざす値達成率：59.5%、男女別：差異無 年齢別：差異有、職業別：差異有、地区別：差異有 要因：健康づくりに取り組み始める年代ほど施設や環境に求めるレベルが高くなると想定。</p>																																	

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

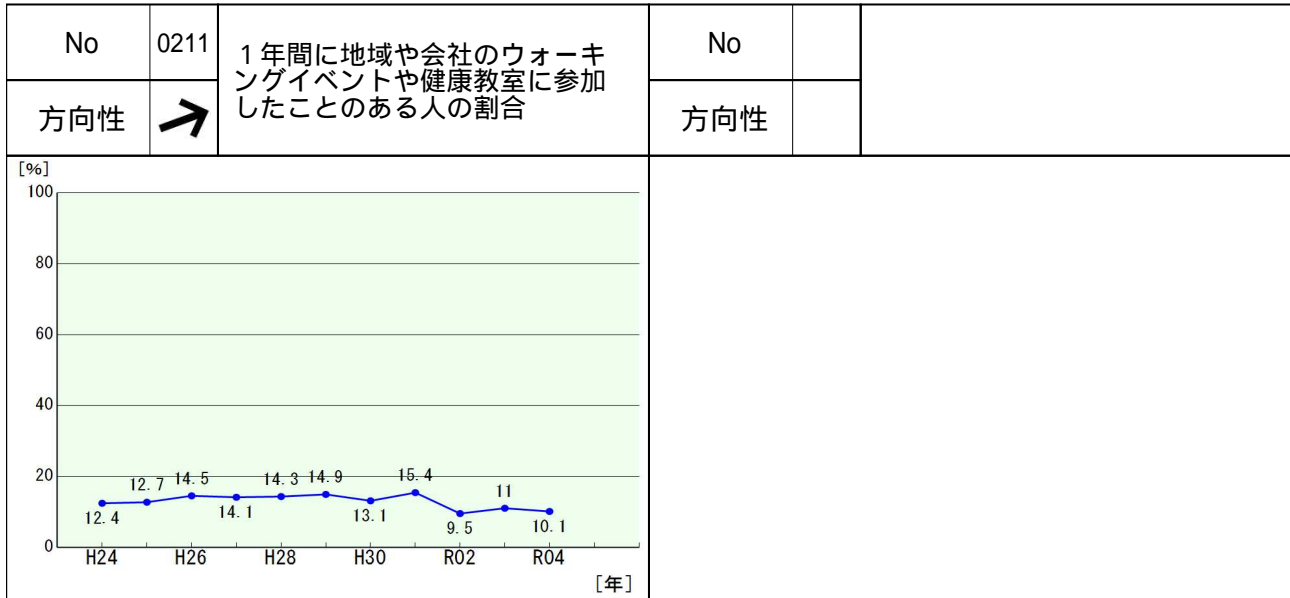
施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 まちづくり指標について、対基準値で5.0ポイント増加している。成果指標では、「健康応援ステーションの数」は基準値から増加しているものの、「健康応援ステーション制度を知っている人の割合」や、「地域や会社でのイベントや健康教室への参加」は、対基準値で低下している。市の制度や地域での活動だけではなく、民間を含めた市内の施設や環境を利用し、個人で取り組みを進める人が増えていると考える。
 新型コロナウイルス感染症の影響も薄れたことから、今後も各種事業を通じて市民の健康づくりへの意識と関心を高め、制度やイベントの周知を行っていく必要がある。

施策 02 健康づくりを支援する社会環境をつくる

単位施策 01 健康づくりに取り組む団体などを育成する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。

「1年間に地域や会社のウォーキングイベントや健康教室に参加したことがある人の割合」は基準値から2.3ポイント低下しており順調とはいえない。その理由としては、新型コロナウイルス感染症の影響から脱せず、健康教室等が休止したままコロナ禍以前の水準に戻らないことが一因と考える。

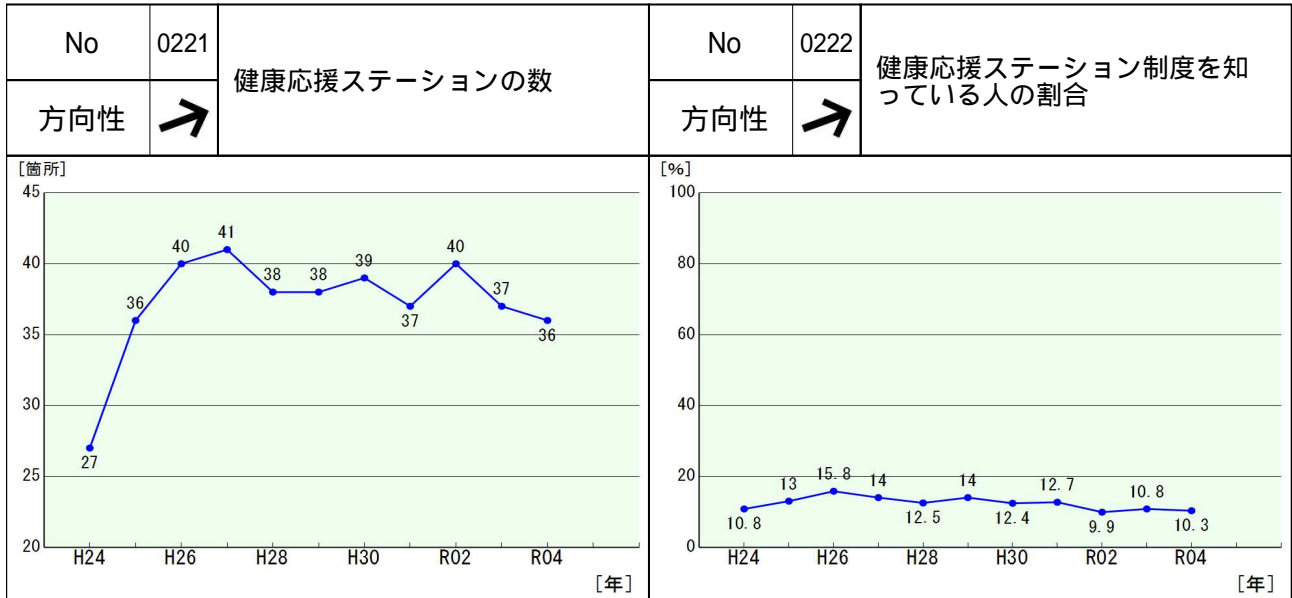
今後も各種事業を通じて市民の健康づくりへの意識と関心を高めていく必要がある。

施策 02 健康づくりを支援する社会環境をつくる

単位施策 02 健康づくりに取り組みやすい生活環境を整備する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「健康応援ステーションの数」は基準値から9施設向上し、「健康応援ステーション制度を知っている人の割合」は基準値より0.5ポイント低下した。「健康応援ステーションの数」は基準時点から飲食店を中心にその数を増やし広がりを見せている。その一方で「健康応援ステーション制度を知っている人の割合」は低下しており、一部店舗の廃業がその一因と考える。
 トマトde健康フェスティバルの参加店舗が健康応援ステーションの参加へとつながった例があることから、これらを通じて今後も認定店舗の拡大を図っていく必要がある。

章 01 健康・福祉・子育て
 節 02 地域医療
 施策 03 地域医療を守り、医療が身近なところで、安心して受けられる環境をつくる

理念 安心

施策主管課【健康推進課】

めざすまちの姿

医療サービスを安心して利用できる

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

地域医療を守り、市民の安心と健康を確保する取り組みは、安心して暮らすことができるまちづくりに貢献するものであることから、公立西知多総合病院、地域の病院、診療所及び関係機関などと連携を図って、住み慣れた地域で安心して医療を受けることができるよう努めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	身近な医療機関で安心して受診できる環境をつくる	3,728,022	3,152,478
02	地域医療の体制を整備する	1,316,699	1,316,699
	施策合計	5,044,721	4,469,177

まちづくり指標の分析

No	0005	安心して医療を受けられる環境が整っていると感じている人の割合	No	
方向性	➔		方向性	
対基準値：9.8ポイント増 / 基準値からの推移： 10年後めざそう値達成率：83.8% 年齢別：差異有、職業別：差異有、地区別：差異有 要因：地区別では、診療所など地域の医療資源が指標数値に影響していると想定。				

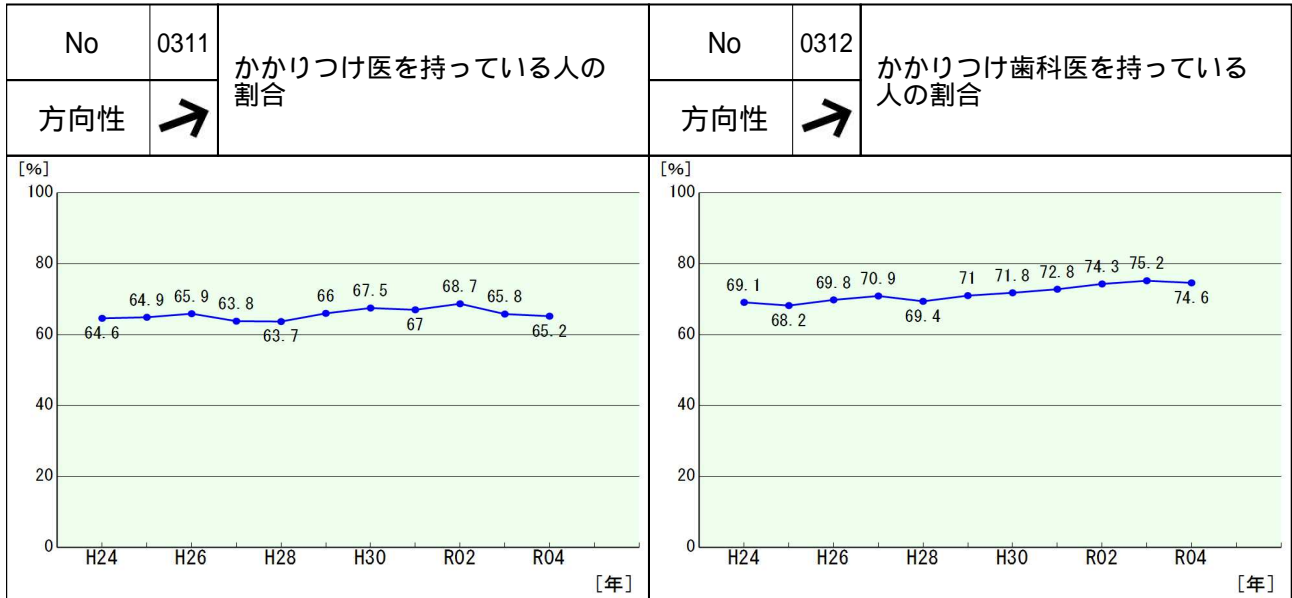
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 まちづくり指標は、前年度から3.6ポイント減少しているが、対基準値で9.8ポイント増加している。前年度から減少した理由としては、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大により医療提供体制がひっ迫し、診療制限等により受診できなかった方がいることが要因の一つと考えられ、高齢になるにつれ減少し、値が低くなっている。
 今後も、市民が住み慣れた地域で安心して医療を受けることができるよう、公立西知多総合病院を核とした地域医療体制を支援するとともに、市民に対し「かかりつけ医」、「かかりつけ歯科医」を持つ必要性を様々な保健事業を活用し、啓発していく必要がある。

施策 03 地域医療を守り、医療が身近なところで、安心して受けられる環境をつくる
 単位施策 01 身近な医療機関で安心して受診できる環境をつくる

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「かかりつけ医を持っている人の割合」は、基準値から0.6ポイント増加し、「かかりつけ歯科医を持っている人の割合」は、基準値から5.5ポイント増加しているが、いずれも、前年度から減少した。これは、新型コロナウイルス感染症による受診控えの影響があったものと考えられる。年齢別では、かかりつけ医、かかりつけ歯科医ともに65歳以上は割合が高いものの、20歳代及び30歳代は低く推移している。
 今後も、かかりつけ医を持つことは大切であるため、かかりつけ医やかかりつけ歯科医を持つよう、若い世代及び働く世代を始め幅広い世代に向け、企業と連携し啓発を継続していく。

施策 03 地域医療を守り、医療が身近なところで、安心して受けられる環境をつくる
 単位施策 02 地域医療の体制を整備する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移

No	0321	診療所と病院、病院間などの連携が図られていると思う人の割合	No																
方向性	➔		方向性																
<table border="1"> <caption>成果指標の推移データ</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>57.1</td></tr> <tr><td>H26</td><td>58.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>63</td></tr> <tr><td>H30</td><td>64.2</td></tr> <tr><td>R02</td><td>70.6</td></tr> <tr><td>R04</td><td>66.2</td></tr> </tbody> </table>			年	割合 [%]	H24	57.1	H26	58.5	H28	63	H30	64.2	R02	70.6	R04	66.2			
年	割合 [%]																		
H24	57.1																		
H26	58.5																		
H28	63																		
H30	64.2																		
R02	70.6																		
R04	66.2																		

No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 成果指標は、前年度から3.5ポイント減少しているが、基準値から9.1ポイント増加している。前年度から減少したことは、新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大により医療提供体制がひっ迫し、地域の診療所から病院へ患者の受け入れが難しかったことが要因と考える。
 今後も、急性期医療を担う公立西知多総合病院と、回復期、慢性期を担う医療機関や診療所との連携が図られ、地域で市民が安心して医療を受けることができるよう、引き続き支援を行っていく必要がある。

章 01 健康・福祉・子育て
 節 03 高齢者支援
 施策 04 地域で支えあう環境をつくる

理念 ふれあい

施策主管課【高齢者支援課】

めざすまちの姿

高齢者が地域のなかで頼る人があり、人とつながり、見守られている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

高齢者を地域で支えあう活動を進めることで、生きがいや活躍の場をつくるとともに、高齢者が健康で安心して暮らすことができる環境を整備します。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	高齢者が活躍できる場をつくる	87,075	80,148
02	高齢者の介護者を支援する	36,968	35,816
	施策合計	124,043	115,964

まちづくり指標の分析

No	0006	No																											
方向性	➔	方向性																											
高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせると思う人の割合																													
<table border="1"> <caption>まちづくり指標の分析データ</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>61.9</td></tr> <tr><td>H25</td><td>61.6</td></tr> <tr><td>H26</td><td>59.6</td></tr> <tr><td>H27</td><td>61.5</td></tr> <tr><td>H28</td><td>59.8</td></tr> <tr><td>H29</td><td>66</td></tr> <tr><td>H30</td><td>65</td></tr> <tr><td>H31</td><td>65</td></tr> <tr><td>H32</td><td>69.2</td></tr> <tr><td>H33</td><td>66.8</td></tr> <tr><td>H34</td><td>66.3</td></tr> <tr><td>R04</td><td>67</td></tr> </tbody> </table>				年	割合 [%]	H24	61.9	H25	61.6	H26	59.6	H27	61.5	H28	59.8	H29	66	H30	65	H31	65	H32	69.2	H33	66.8	H34	66.3	R04	67
年	割合 [%]																												
H24	61.9																												
H25	61.6																												
H26	59.6																												
H27	61.5																												
H28	59.8																												
H29	66																												
H30	65																												
H31	65																												
H32	69.2																												
H33	66.8																												
H34	66.3																												
R04	67																												
対基準値:3.4ポイント増/基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:66.7% 年齢別:差異有、職業別:差異無、地区別:差異有 要因:地域包括ケアシステムの考え方が浸透してきているものと考え。																													

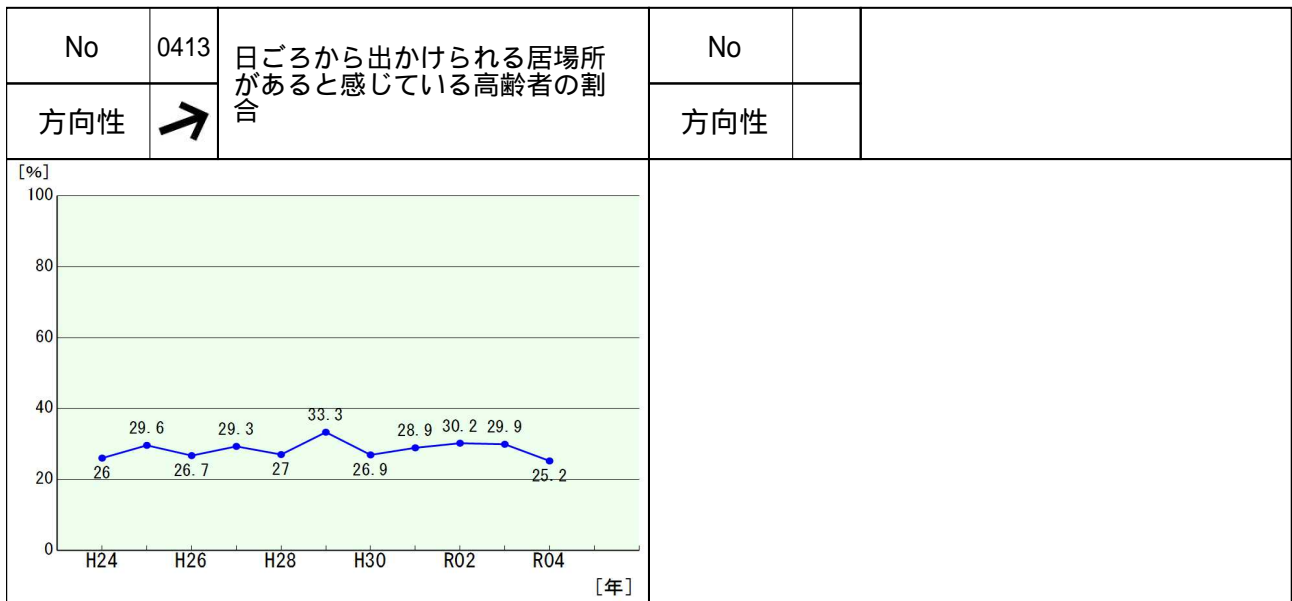
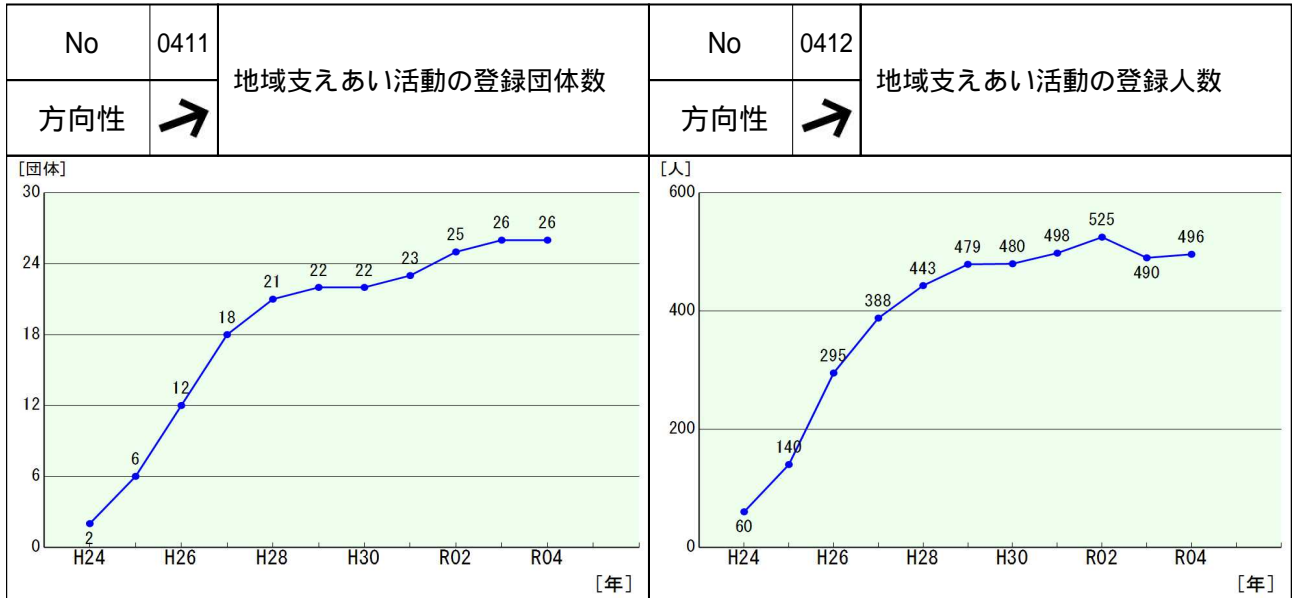
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 まちづくり指標は前年度より低下しているものの基準値から3.4ポイント向上している。その理由は、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らすことを目的とした、地域包括ケアシステムの構築が順調に進み、地域活動を中心的に担っている高齢者自身が活躍できる場があると実感しているものと考え。一方で、地域支えあい活動登録団体の活動員が高齢化してきていることから、対策を講じるとともに高齢者が活躍できる場づくりを推進していく必要がある。
 今後も関係機関と連携し、活躍できる場の拡大を図り、シニアクラブを始めとした地域支えあい活動等への人材育成等の支援を継続していく。

施策 04 地域で支えあう環境をつくる
 単位施策 01 高齢者が活躍できる場をつくる

単位施策主管課【高齢者支援課】

成果指標の推移



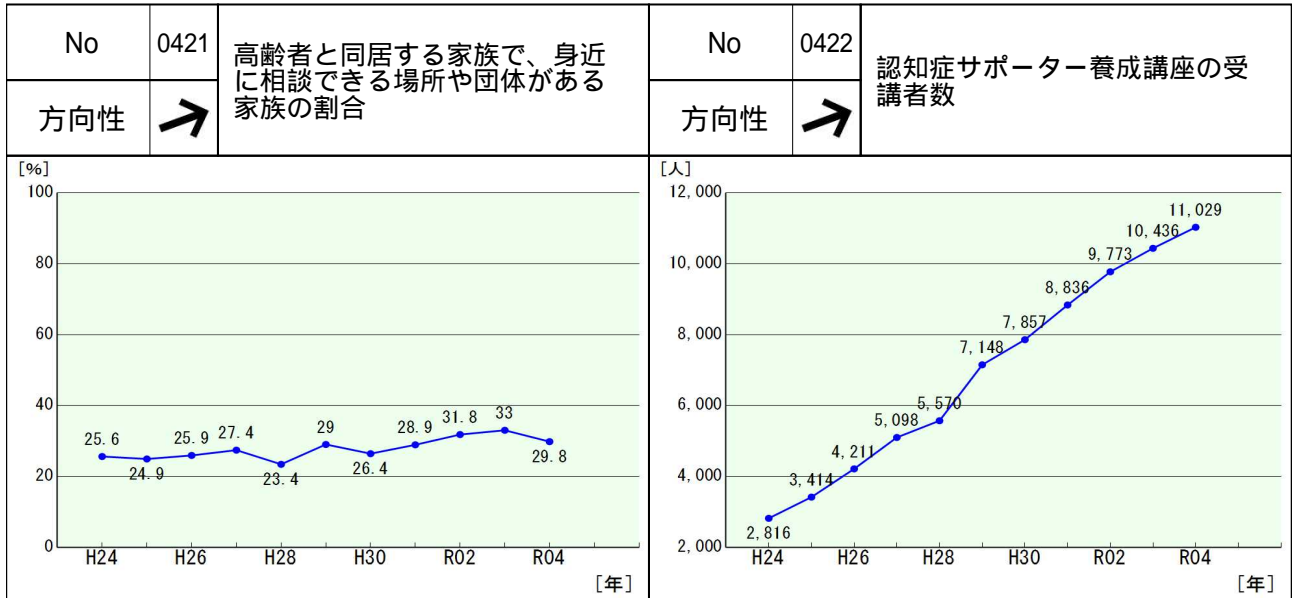
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「地域支えあい活動の登録団体数」及び「地域支えあい活動の登録人数」は、ともに基準値から大幅に増加しており、対前年度では、登録団体数は維持し登録人数は微増している。また「日ごろから出かけられる居場所があると感じている高齢者の割合」は、初めて基準値を下回った。その理由としては、高齢者の外出について新型コロナウイルス感染症の影響から脱せず、低下傾向が続いていることが要因と考える。
 今後も、高齢者が外出できる環境づくりのため、地域支えあい活動団体やシニアクラブ等への支援を行っていく。

施策 04 地域で支えあう環境をつくる
 単位施策 02 高齢者の介護者を支援する

単位施策主管課【高齢者支援課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「高齢者と同居する家族で、身近に相談できる場所や団体がある家族の割合」が基準値から4.2ポイント向上、「認知症サポーター養成講座の受講者数」は基準値から大幅に向上している。その理由としては、認知症カフェを常設としたことで、いつでも相談できる環境が整ったことや、小学生から大学生の若い世代も認知症サポーター養成講座を受講し、早くから認知症の理解を進めることで、相談先等の理解も深まり高齢者への支援に繋がっていると考えられる。
 年々、高齢者人口の伸展とともに、要介護認定者数も増加することが想定されるため、今後も身近な相談先の確保やニーズに合った効果的な支援策を展開、周知していく。

章 01 健康・福祉・子育て
 節 03 高齢者支援
 施策 05 高齢者の保健・介護・福祉サービスを充実させる

理念 安心

施策主管課【高齢者支援課】

めざすまちの姿

介護など的高齢者福祉が充実している

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

健康で安心した生活ができるよう、高齢者の健康状態に応じた相談や支援を受けることができるなど、保健・福祉のサービスの充実を図ります。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	介護が必要な高齢者を支援する	1,646,304	1,611,192
02	ひとり暮らしなど的高齢者を支援する	43,085	39,226
03	高齢者の健康づくりなどの取り組みを支援する	37,311	27,301
施策合計		1,726,700	1,677,719

まちづくり指標の分析

No	0007	高齢者のサービスなどが充実していると感じている人の割合	No	
方向性	➔		方向性	
<p>対基準値：3.1ポイント増 / 基準値からの推移： 10年後めざそう値達成率：47.0% 年齢別：差異有、職業別：差異有、地区別：差異有 要因：高齢化に伴い、サービスの利用者が増えていると考える。</p>				

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、順調でないとは評価する。

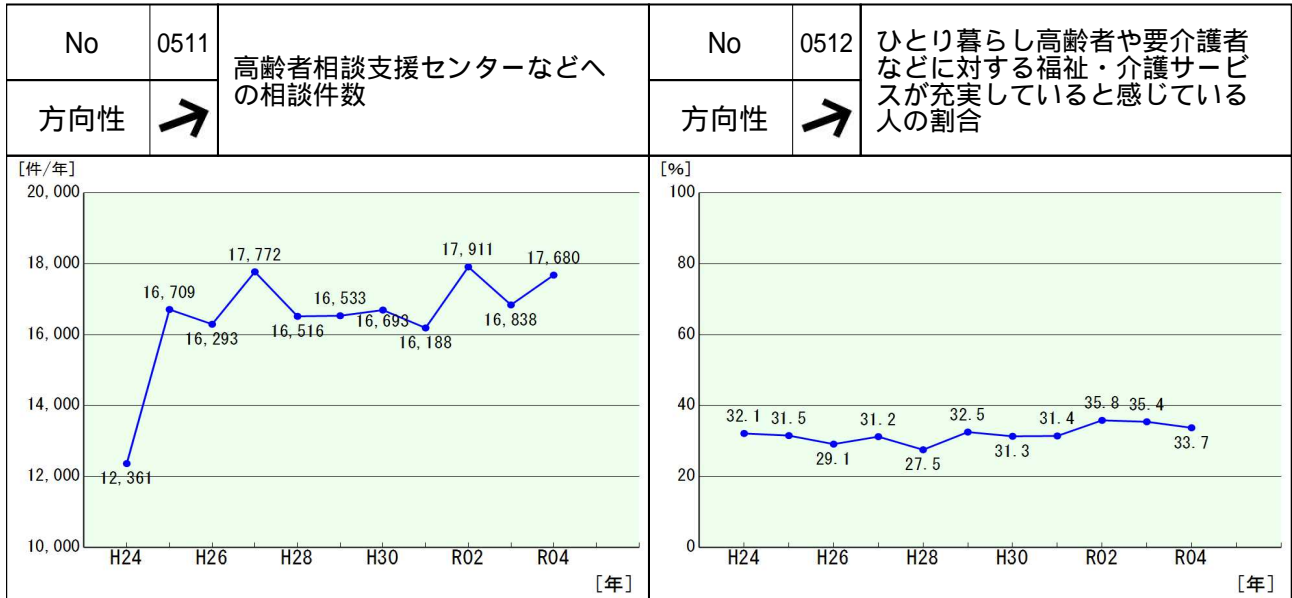
まちづくり指標は基準値から3.1ポイント増加しているものの、前年度より6.6ポイント低下している。年齢別では、75歳以上の割合は60.8%であったが、65歳～74歳では前年度より15.6ポイント減の48.2%となった。その理由としては、前期高齢者世代の方が介護サービスを利用し始めようとしたとき、相談窓口や介護サービスの情報が浸透しておらず、充実していないと感じた人が多かったものとする。

今後は、相談窓口や介護サービスの利用について周知していくとともに、高齢者の健康づくりを引き続き支援していく必要がある。

施策 05 高齢者の保健・介護・福祉サービスを充実させる
 単位施策 01 介護が必要な高齢者を支援する

単位施策主管課【高齢者支援課】

成果指標の推移



No		No	
方向性		方向性	

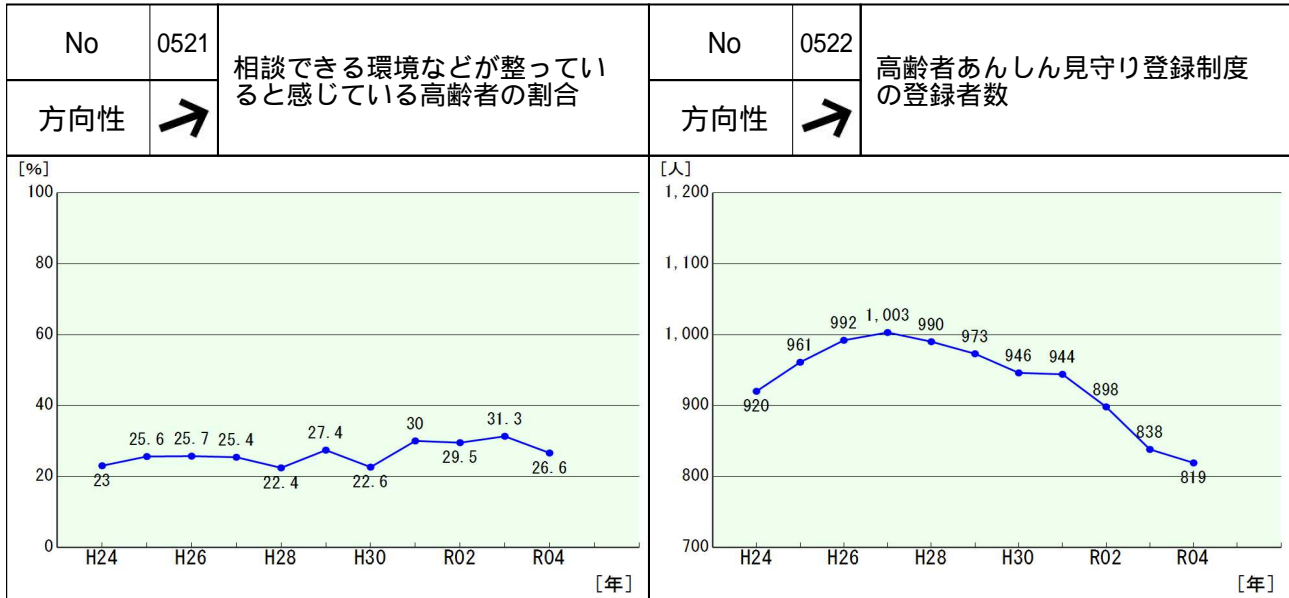
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
 2成果指標とも、基準値より改善している。その理由としては、高齢者支援センターなどへの相談をきっかけに、各種福祉・介護サービスの利用につながり、制度が充実していると感じているものと考える。
 今後も介護が必要な高齢者を支援するために、対象者のニーズを的確に把握し、適切なサービスを提供していく。

施策 05 高齢者の保健・介護・福祉サービスを充実させる
 単位施策 02 ひとり暮らしなどの高齢者を支援する

単位施策主管課【高齢者支援課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

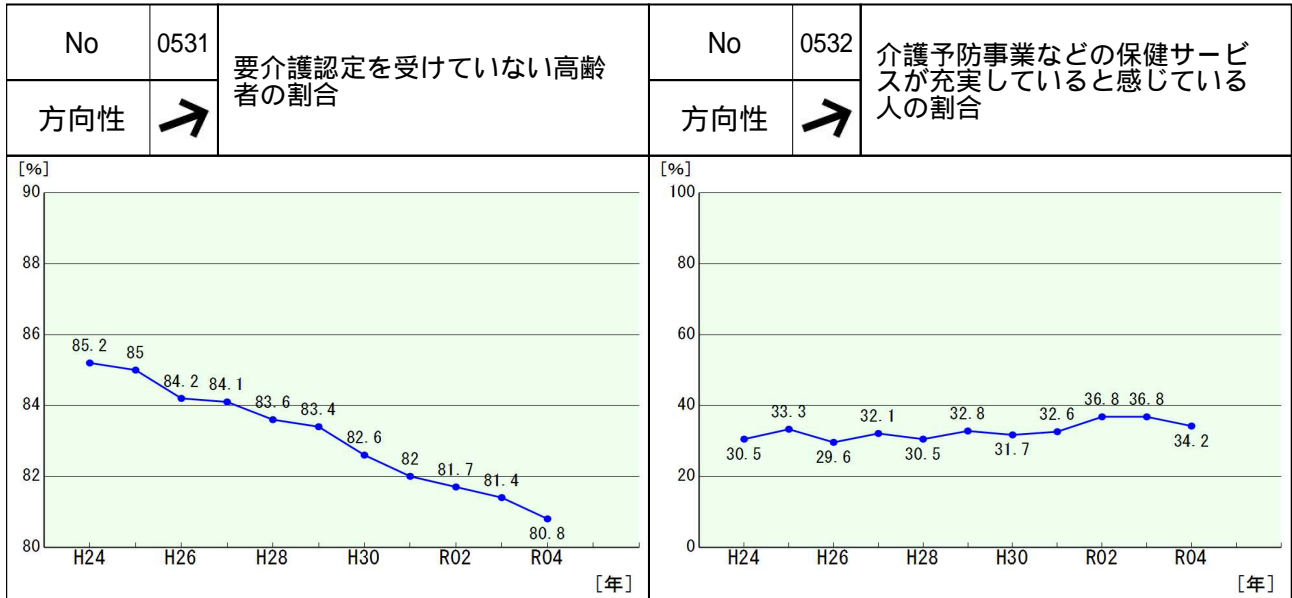
単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
 「相談できる環境などが整っていると感じている高齢者の割合」は、基準値から改善したものの「高齢者あんしん見守り登録制度の登録者数」は基準値より低く、年々低下している。その理由としては、家族と同居または施設に入所した高齢者が多かったことであんしん見守り登録を解消した高齢者が多かったことによるものと考える。
 今後もひとり暮らし高齢者が安心して暮らすことのできる環境整備を進めていく必要がある。

施策 05 高齢者の保健・介護・福祉サービスを充実させる

単位施策 03 高齢者の健康づくりなどの取り組みを支援する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
 「要介護認定を受けていない高齢者の割合」は、基準値を下回っており、「介護予防事業などの保健サービスが充実していると感じている人の割合」は、基準値を上回っているものの、前年度から2.6ポイント低下した。これは、人口構成の変化により、後期高齢者の割合が増加し、介護を必要とする方が増加しているためである。
 「介護予防事業などの保健サービスが充実していると感じている人の割合」については女性の数値が高く、地域差もあるため、今後、男性にも参加しやすい事業や高齢者の集いの場や体操教室等の既存の社会資源の状況を考慮した事業展開を行っていく必要がある。

章 01 健康・福祉・子育て
 節 04 障害者支援
 施策 06 障害者に対する理解を深める

理念 いきいき

施策主管課【社会福祉課】

めざすまちの姿

障害が理解され、障害者が地域でいきいきと生活している

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

障害のある人もない人も、互いに思いやり、助け合って、いきいきと生活できる社会の実現のために、市民一人ひとりが障害について関心を持てるよう、学校や地域において、障害や障害者に対する理解を深めるための啓発活動や福祉事業を進めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	障害について理解できる機会をつくる	11,991	10,069
施策合計		11,991	10,069

まちづくり指標の分析

No	0008	地域社会で障害者が理解されていると思う人の割合	No																									
方向性	➔		方向性																									
<table border="1"> <caption>まちづくり指標の分析データ</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>48.7</td></tr> <tr><td>H25</td><td>45.6</td></tr> <tr><td>H26</td><td>45.5</td></tr> <tr><td>H27</td><td>45</td></tr> <tr><td>H28</td><td>46.3</td></tr> <tr><td>H29</td><td>47.2</td></tr> <tr><td>H30</td><td>50</td></tr> <tr><td>H31</td><td>49</td></tr> <tr><td>R02</td><td>51.2</td></tr> <tr><td>R03</td><td>51.7</td></tr> <tr><td>R04</td><td>53.7</td></tr> </tbody> </table>					年	割合 [%]	H24	48.7	H25	45.6	H26	45.5	H27	45	H28	46.3	H29	47.2	H30	50	H31	49	R02	51.2	R03	51.7	R04	53.7
年	割合 [%]																											
H24	48.7																											
H25	45.6																											
H26	45.5																											
H27	45																											
H28	46.3																											
H29	47.2																											
H30	50																											
H31	49																											
R02	51.2																											
R03	51.7																											
R04	53.7																											
<p>対基準値:0.2ポイント増/基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:4.0% 年齢別:差異無、職業別:差異無、地区別:差異無 要因:障害に対する理解促進が市民全体に広まっていないものと想定。</p>																												

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、順調でないと評価する。

まちづくり指標は、基準値から0.2ポイント増加しているが、前年度から2.8ポイント減少している。成果指標の「障害が理解されていると思う障害者（その家族）の割合」も基準値からは改善しているものの前年度から3.1ポイント減少し、推移が横ばい傾向であることから、市民全体に理解促進が広まっておらず、取り組みが不十分だったと考える。

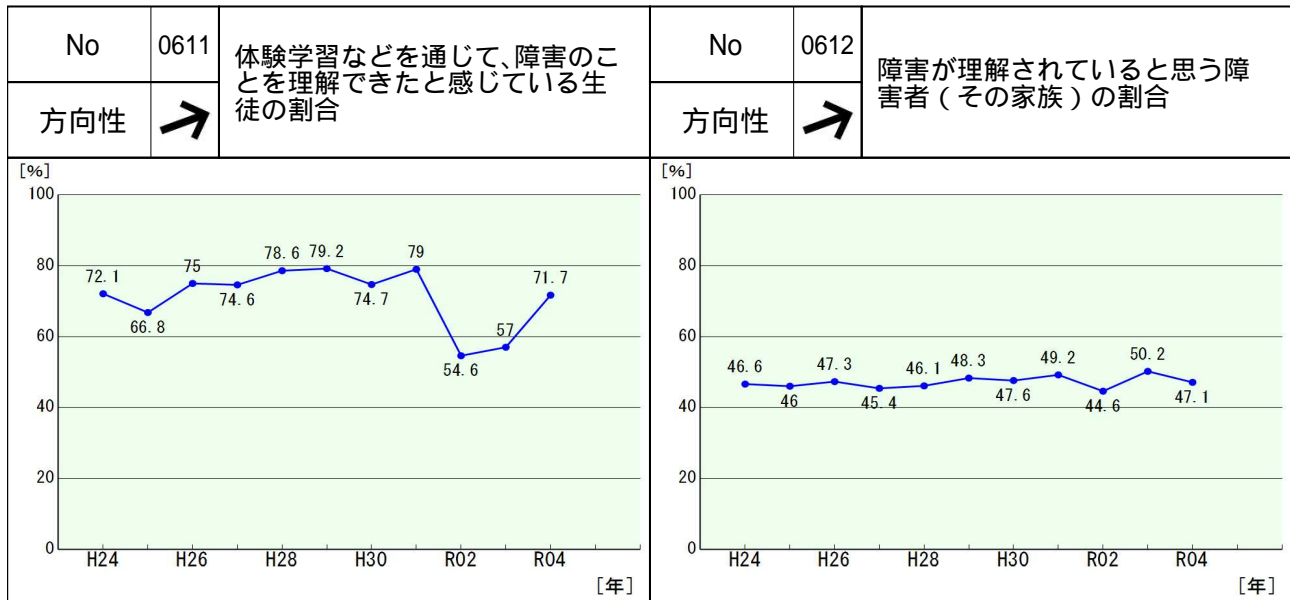
今後は、福祉体験教室等を継続的に実施するとともに、より多くの方に啓発ができるよう更なる充実を図っていく必要がある。

施策 06 障害者に対する理解を深める

単位施策 01 障害について理解できる機会をつくる

単位施策主管課【社会福祉課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「障害が理解されていると思う障害者(その家族)の割合」は、基準値から0.5ポイント増加し、「体験学習などを通じて、障害のことを理解できたと感じている生徒の割合」は基準値を下回っているものの前年度から大幅に改善した。新型コロナウイルス感染症の影響で、一部中止とされていた福祉体験学習などを例年どおり実施したことで改善に向かっていると考える。
 今後は、福祉体験教室を継続的に実施するとともに、社会福祉法人や障害者団体などの関係団体と連携して、啓発イベントを実施するなど、より多くの方に障害について理解が深められるよう充実した啓発活動を行っていく。

章 01 健康・福祉・子育て
 節 04 障害者支援
 施策 07 障害者の福祉サービスを充実させる

理念 安心

施策主管課【社会福祉課】

めざすまちの姿

障害に応じた必要なサービスを受けることができる

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

障害者やその家族が安心して生活できるよう、また、障害のある人もない人も社会参加できるよう、福祉サービスの充実を図ります。
 また、障害者や家族が気軽に相談できる体制を整備するとともに、必要な情報提供を行います。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	障害者の地域での生活を支援する	3,763,279	3,663,866
02	相談支援を充実させる	231,297	229,791
施策合計		3,994,576	3,893,657

まちづくり指標の分析

No	0009	No	0010																																																								
方向性	➔ 障害者の福祉サービスが整っていると思う人の割合	方向性	➔ 障害者やその家族からの相談を支援する体制が整っていると思う人の割合																																																								
<table border="1"> <caption>指標 No. 0009 推移表</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>割合 [%]</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>48.8</td></tr> <tr><td>H25</td><td>46.4</td></tr> <tr><td>H26</td><td>46.6</td></tr> <tr><td>H27</td><td>46.1</td></tr> <tr><td>H28</td><td>47</td></tr> <tr><td>H29</td><td>49</td></tr> <tr><td>H30</td><td>50</td></tr> <tr><td>H31</td><td>46.8</td></tr> <tr><td>H32</td><td>50.5</td></tr> <tr><td>H33</td><td>52.6</td></tr> <tr><td>H34</td><td>53.4</td></tr> <tr><td>R01</td><td>49.4</td></tr> <tr><td>R02</td><td>55</td></tr> </tbody> </table>		年	割合 [%]	H24	48.8	H25	46.4	H26	46.6	H27	46.1	H28	47	H29	49	H30	50	H31	46.8	H32	50.5	H33	52.6	H34	53.4	R01	49.4	R02	55	<table border="1"> <caption>指標 No. 0010 推移表</caption> <thead> <tr><th>年</th><th>割合 [%]</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>45.3</td></tr> <tr><td>H25</td><td>44.3</td></tr> <tr><td>H26</td><td>43.8</td></tr> <tr><td>H27</td><td>43</td></tr> <tr><td>H28</td><td>44.8</td></tr> <tr><td>H29</td><td>45.9</td></tr> <tr><td>H30</td><td>48.9</td></tr> <tr><td>H31</td><td>45.1</td></tr> <tr><td>H32</td><td>48</td></tr> <tr><td>H33</td><td>50.8</td></tr> <tr><td>H34</td><td>51.3</td></tr> <tr><td>R01</td><td>46.9</td></tr> <tr><td>R02</td><td>51</td></tr> </tbody> </table>		年	割合 [%]	H24	45.3	H25	44.3	H26	43.8	H27	43	H28	44.8	H29	45.9	H30	48.9	H31	45.1	H32	48	H33	50.8	H34	51.3	R01	46.9	R02	51
年	割合 [%]																																																										
H24	48.8																																																										
H25	46.4																																																										
H26	46.6																																																										
H27	46.1																																																										
H28	47																																																										
H29	49																																																										
H30	50																																																										
H31	46.8																																																										
H32	50.5																																																										
H33	52.6																																																										
H34	53.4																																																										
R01	49.4																																																										
R02	55																																																										
年	割合 [%]																																																										
H24	45.3																																																										
H25	44.3																																																										
H26	43.8																																																										
H27	43																																																										
H28	44.8																																																										
H29	45.9																																																										
H30	48.9																																																										
H31	45.1																																																										
H32	48																																																										
H33	50.8																																																										
H34	51.3																																																										
R01	46.9																																																										
R02	51																																																										
対基準値:0.6ポイント増 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:9.7% 年齢別:差異無、職業別:差異無、地区別:差異無 要因:福祉サービスのニーズが年々増加傾向になっているものと想定。		対基準値:1.6ポイント増 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:28.1% 年齢別:差異無、職業別:差異無、地区別:差異無 要因:障害者数の増加に伴い、障害者の相談ニーズが増加傾向となっているものと想定。																																																									

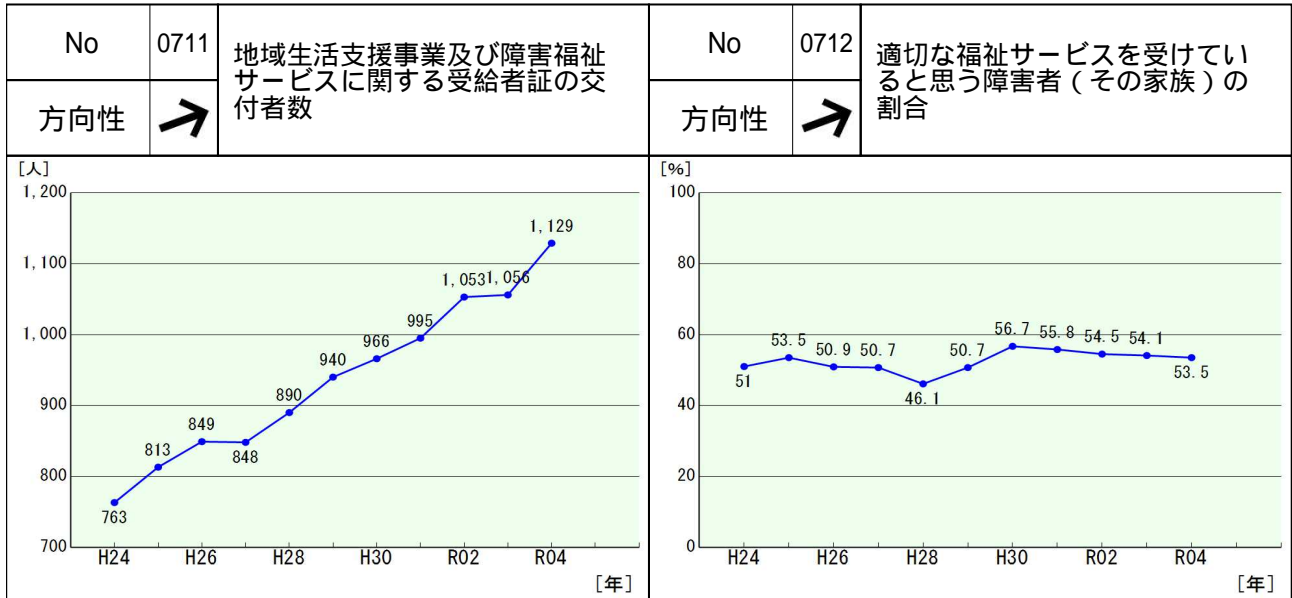
めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、順調でないと評価する。
 まちづくり指標は、2指標とも基準値を上回っているが、前年度からは減少している。障害者数の増加に伴い、福祉サービスのニーズが増加傾向となっているが、提供が不十分であると考えられる。
 今後も、福祉サービスのニーズは増加することが見込まれることから、ニーズに応じた適切なサービスの提供と、更なる相談件数の増加に対応できるよう、関係機関との協議・調整を進めていく必要がある。

施策 07 障害者の福祉サービスを充実させる
 単位施策 01 障害者の地域での生活を支援する

単位施策主管課【社会福祉課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

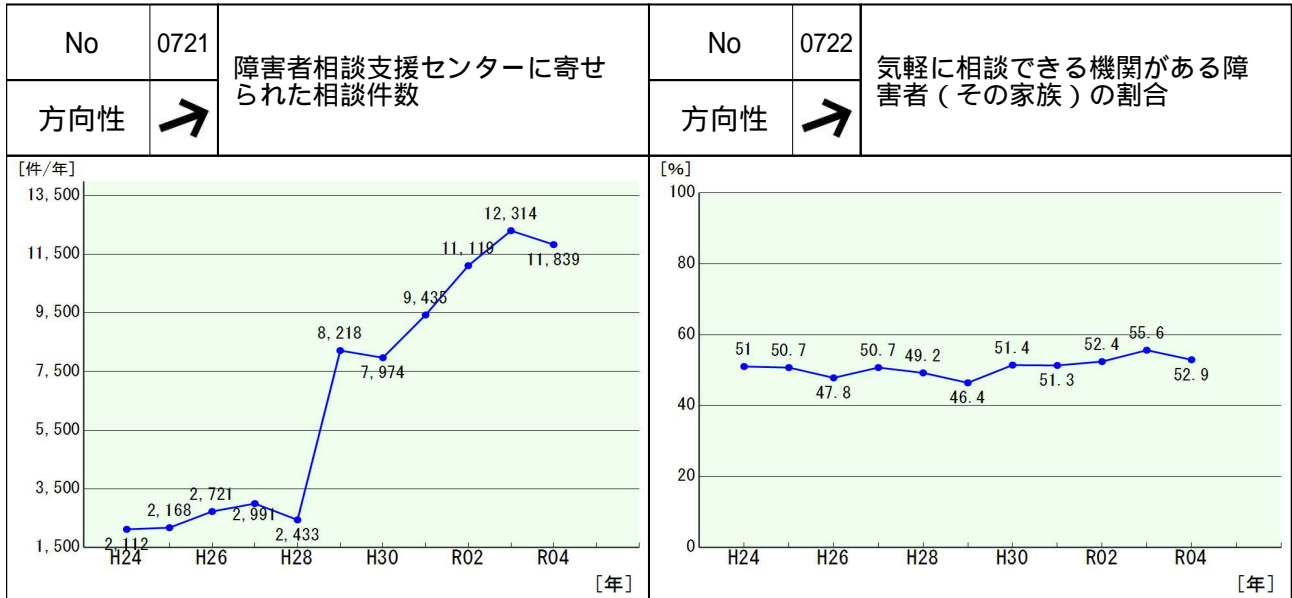
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「地域生活支援事業及び障害福祉サービスに関する受給者証の交付者数」は基準値より366人増加しており、順調に進展している。しかし、「適切な福祉サービスを受けていると思う障害者（その家族）の割合」は、基準値を上回っているが、前年度から低下している。受給者証の交付者数が増加する中で、福祉サービスの必要性が顕在化するとともに、増加し続けるニーズに対してサービスの提供が十分ではないと考える。
 今後も、受給者証の交付者数は増加していくと見込まれるため、関係団体と協力して福祉サービスの提供の充実を図っていく。

施策 07 障害者の福祉サービスを充実させる
 単位施策 02 相談支援を充実させる

単位施策主管課【社会福祉課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「障害者相談支援センターに寄せられた相談件数」は、基準値から9,727件増加しており、障害者相談支援センターが徐々に浸透してきたことで、高い傾向で推移していると考える。「気軽に相談できる機関がある障害者（その家族）の割合」は、基準値から1.9ポイント増加したが、前年度から2.7ポイント減少しており、相談内容は福祉サービスの利用に関するものが多く占めており、福祉サービスのニーズも高まっていると考える。
 今後も、相談件数の増加に対応できるよう、関係機関との協議・調整を進めていく。

章 01 健康・福祉・子育て
 節 05 子育て支援
 施策 08 結婚活動を応援し、子育て支援サービスを充実させる

理念 快適

施策主管課【幼児保育課】

めざすまちの姿

未来を担う子どもが生まれ健やかに育っている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

子どもが健やかに育つよう、子どもの成長発達に応じて、親子がともに育ち合えるよう相談・支援体制を整備するとともに、保育園や子育て支援センターなどの施設を充実させます。また、結婚応援センターを拠点とした、未婚者への結婚応援を進めます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	子どもが生まれ、健やかに育つ支援サービスを充実させる	6,670,186	6,500,561
02	親子の健やかな育ちを支援する	866,106	781,858
03	子どもへの虐待を防止する	6,615	5,239
施策合計		7,542,907	7,287,658

まちづくり指標の分析

No	0011	No																											
方向性	➔ 子育てがしやすいまちであると 感じている人の割合	方向性																											
<table border="1"> <caption>子育てがしやすいまちであると 感じている人の割合 [%]</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>割合 [%]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H24</td><td>64.9</td></tr> <tr><td>H25</td><td>69.5</td></tr> <tr><td>H26</td><td>66.1</td></tr> <tr><td>H27</td><td>69.2</td></tr> <tr><td>H28</td><td>69.8</td></tr> <tr><td>H29</td><td>73</td></tr> <tr><td>H30</td><td>68</td></tr> <tr><td>H31</td><td>73</td></tr> <tr><td>H32</td><td>71.7</td></tr> <tr><td>R02</td><td>75.1</td></tr> <tr><td>R03</td><td>75.6</td></tr> <tr><td>R04</td><td>76</td></tr> </tbody> </table>				年	割合 [%]	H24	64.9	H25	69.5	H26	66.1	H27	69.2	H28	69.8	H29	73	H30	68	H31	73	H32	71.7	R02	75.1	R03	75.6	R04	76
年	割合 [%]																												
H24	64.9																												
H25	69.5																												
H26	66.1																												
H27	69.2																												
H28	69.8																												
H29	73																												
H30	68																												
H31	73																												
H32	71.7																												
R02	75.1																												
R03	75.6																												
R04	76																												
<p>対基準値：10.5ポイント増 / 基準値からの推移： 10年後めざそう値達成率：94.6% 年齢別：差異有、職業別：差異有、地区別：差異有 要因：多様な保育ニーズへの対応の効果と想定。女性 や若年世代において割合が高い。</p>																													

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

施策の成果動向は、順調と評価する。

まちづくり指標は順調に向上し、基準値から10.5ポイント増加した。3歳未満児の保育の受け皿の増加により待機児童数が0人となったこと、行政やメディアの啓発等により「子どもへの虐待に関する通報先を知っている人の割合」が増えたこと等が要因と考える。

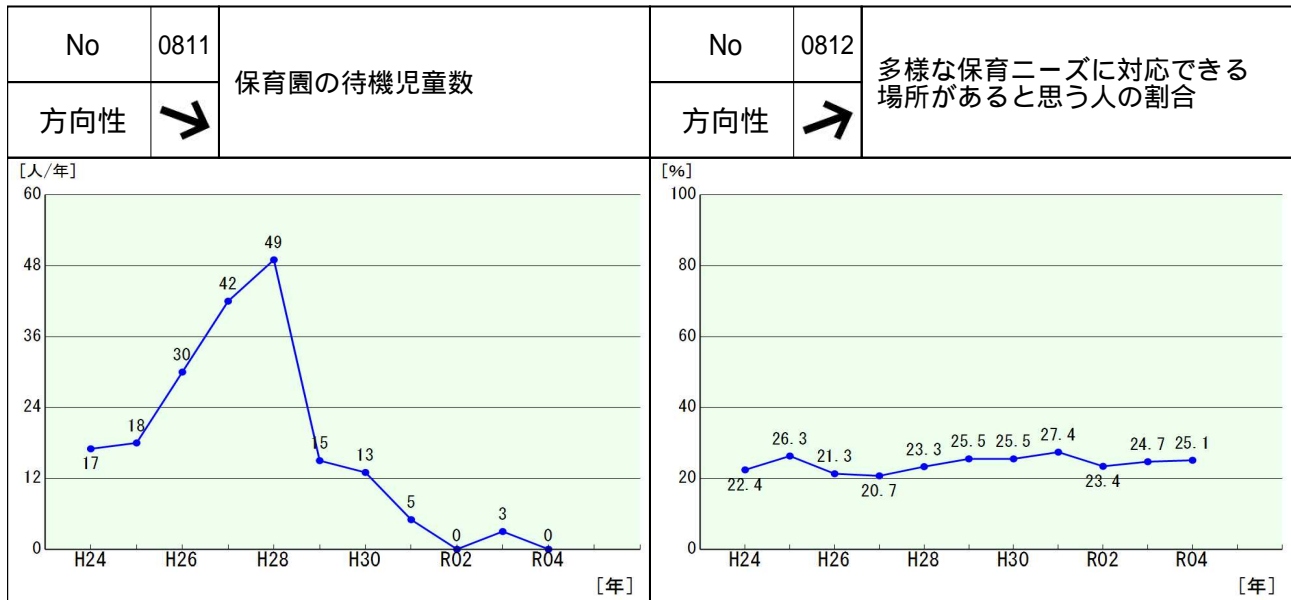
今後は、子育てに関し気軽に相談できる機会を増やすため、身近な場所や専門職による相談支援を継続しつつ、オンラインなど多様な相談機会の充実も図るとともに、子どもの虐待防止を図るため、児童福祉法の改正により設置することが努力義務となった「こども家庭センター」の設置に向けて検討を進めていく。

施策 08 結婚活動を応援し、子育て支援サービスを充実させる

単位施策 01 子どもが生まれ、健やかに育つ支援サービスを充実させる

単位施策主管課【幼児保育課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
 「待機児童数」は、基準値から17人改善し0人となっている。その理由としては、保育所等整備費補助事業を通じ、3歳未満児の保育の受け皿が、前年度から31人増加したことの効果と考える。「多様な保育ニーズに対応できる場所があると思う人の割合」は、基準値から2.7ポイント改善している。その理由としては、就労形態の多様化等により、変化をし続ける保育ニーズに対して、私立保育所早朝保育等事業費補助事業、病児・病後児保育事業、幼児集団活動施設等利用料補助事業等の各種取組が効果を上げているものとする。
 今後も社会情勢を注視し、民間活力を導入した保育の受け皿の整備等を進めていく。

施策 08 結婚活動を応援し、子育て支援サービスを充実させる
 単位施策 02 親子の健やかな育ちを支援する

単位施策主管課【健康推進課】

成果指標の推移

No	0821	子育てに関して気軽に相談できる機会があると思う人の割合	No	
方向性	➔		方向性	

年	割合 [%]
H24	17
H25	17.3
H26	13.1
H27	13.2
H28	13.9
H29	13.8
H30	14.3
H31	15.7
R02	13.8
R03	13.2
R04	13.2

No			No	
方向性			方向性	

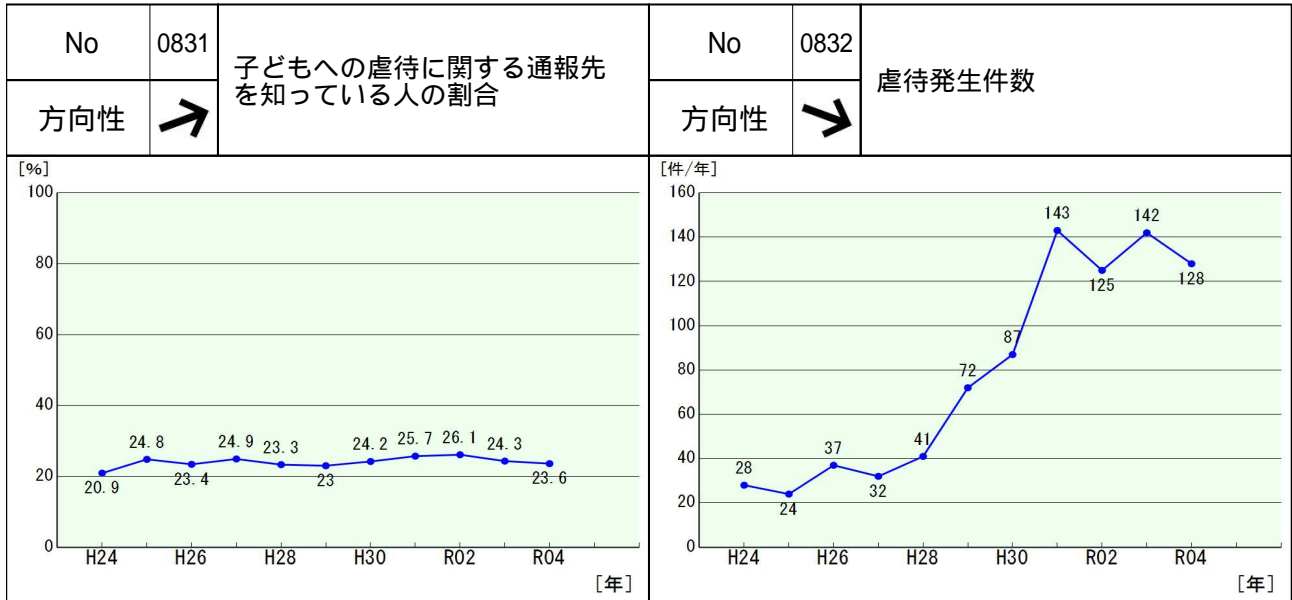
単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 成果指標は基準値を下回る状況が続いており、前年度と同数値で推移している。年齢や職業により異なる傾向となっており、20～30代の子育て世代では上昇した。各種健診や随時、個々の状況に合わせた相談支援により安心につながったことが要因の一つと考える。一方、社会状況の変化により経済的な影響を受けやすい主婦・パート・アルバイトは減少しており、これは経済的な不安要素により、子育てに関する相談機会が減少することが要因の一つと考える。
 今後も身近な場所や専門職による相談支援を継続するとともに、オンラインなど多様な相談機会の充実を図りつつ、他課や関係機関との連携を図る必要がある。

施策 08 結婚活動を応援し、子育て支援サービスを充実させる
 単位施策 03 子どもへの虐待を防止する

単位施策主管課【女性・子ども課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
 「子どもへの虐待に関する通報先を知っている人の割合」は基準値から2.7ポイント向上しており、行政やメディアの啓発による効果と考える。しかし、「虐待発生件数」は基準値から100件悪化しており、先行き不透明な社会情勢等による家庭への過度なストレス等により、虐待発生件数が高止まりで推移していると考えられる。
 令和6年4月施行の児童福祉法の一部改正により、子ども家庭総合支援拠点と子育て世代包括支援センターを一体化した、「こども家庭センター」の設置に努めることとされていることから、設置について検討し、子どもの虐待防止を図っていく必要がある。

章 01 健康・福祉・子育て
 節 05 子育て支援
 施策 09 子どもが健やかに育つ地域社会をつくる

理念 ふれあい

施策主管課【女性・子ども課】

めざすまちの姿

地域の大人や若者が子どもの成長を見守り、支援をしている

施策の基本方針（総合計画から抜粋）

児童館が地域の大人や若者が気軽に訪問できる施設となっており、子どもを見守り、また、交流を持つことができる場所となるよう整備します。
 また、子どもの遊び場と遊べる機会を充実させます。

施策実現のための財源投入状況

（単位：千円）

単位施策名称		R04年度予算	R04年度決算
01	地域に関わる団体などと児童館が連携し、積極的に子育て支援をする	5,834	5,497
02	子どもがいそいそと元気に遊ぶことができる環境を整備する	141,017	136,716
施策合計		146,851	142,213

まちづくり指標の分析

No	0012	No	0013
方向性	➔	方向性	➔
	地域で子どもを育む活動をしたことのある大人や若者の割合		児童館総来館者数
	<p>[%]</p> <p>[年]</p>	<p>[人/年]</p> <p>[年]</p>	
	対基準値:0.4ポイント増 / 基準値からの推移: 10年後めざそう値達成率:5.7% 年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異無 要因:コロナ対策の活動制限等が長期化し、参加意識が低下したためと考える。若年層、学生が低い。	対基準値:52,028人減 / 基準値からの推移: x 10年後めざそう値達成率:-983.7% 地区別:差異有 要因:コロナ対策を前年度よりも緩和して、館運営をしたため、前年度より増加したと考える。	

めざすまちの姿に向けた達成度及び施策の評価

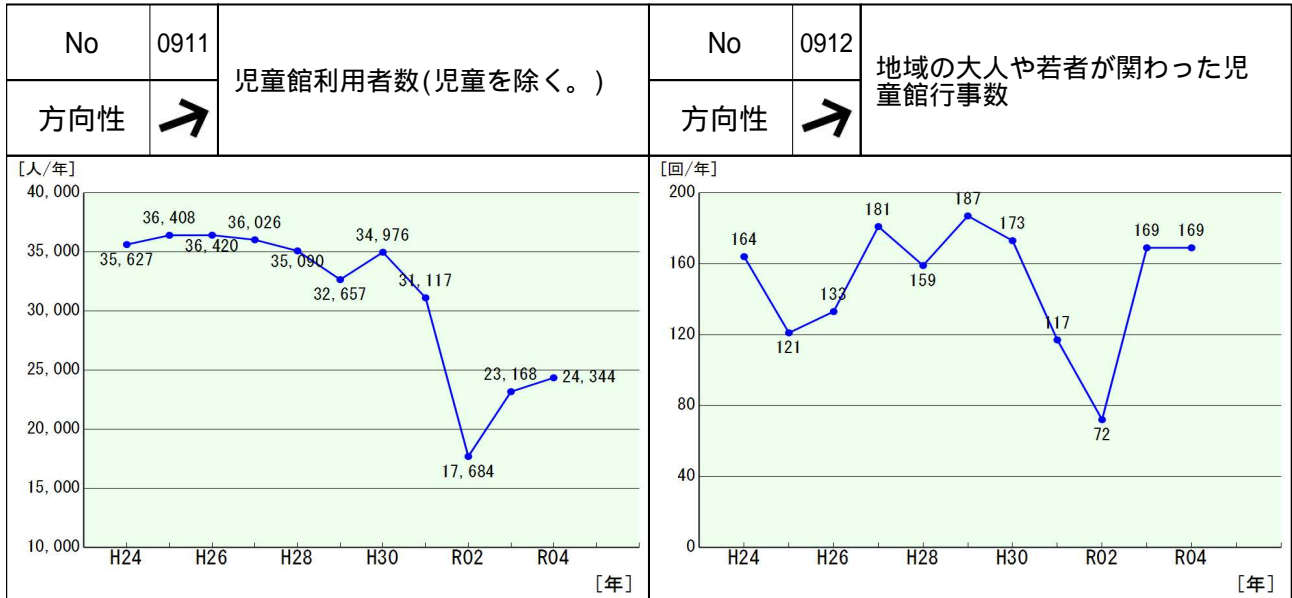
施策の成果動向は、順調でないとして評価する。
 「地域で子どもを育む活動をしたことのある大人や若者の割合」は、基準値から0.4ポイント増加しているが、「児童館総来館者数」は基準値から52,028人減少している。これは、新型コロナウイルス感染症対策により、イベント、人数、時間を制限して、児童館を運営したことが要因と考える。
 今後は、地域の住民が安心して利用できる施設運営に努めることに加えて、利用者の増加につながる施設運営等が必要である。

施策 09 子どもが健やかに育つ地域社会をつくる

単位施策 01 地域に関わる団体などと児童館が連携し、積極的に子育て支援をする

単位施策主管課【女性・子ども課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

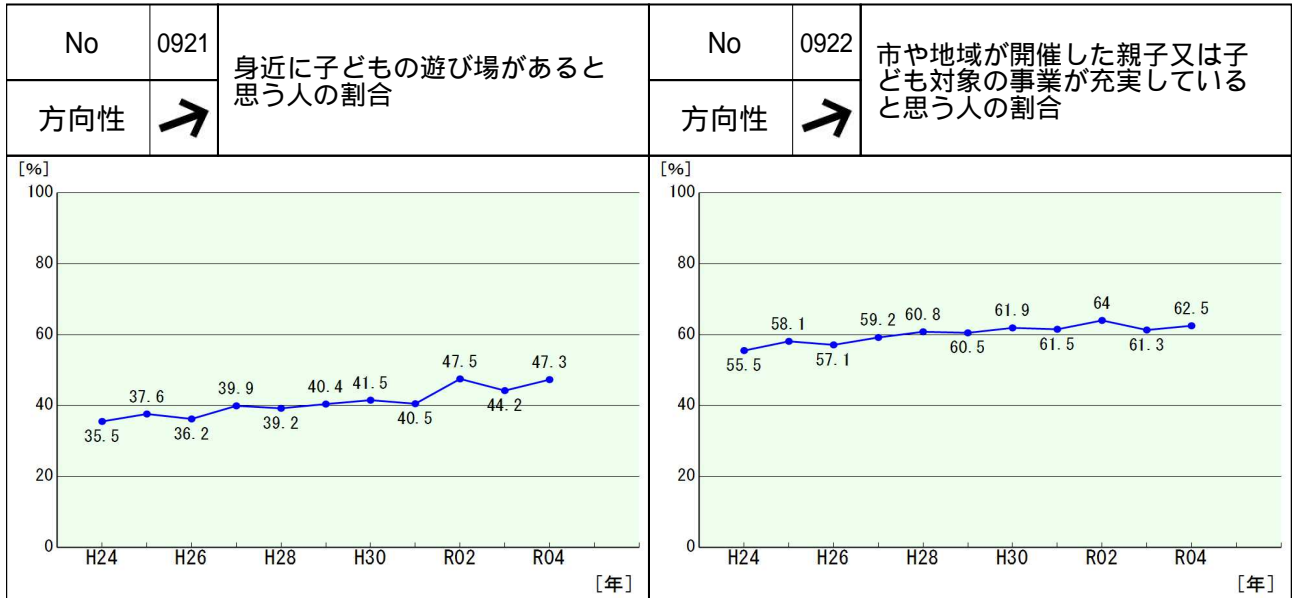
単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
 「児童館利用者数(児童を除く。)」は基準値から11,283人減少している。また、「地域の大人や若者が関わった児童館行事数」は、基準値から横ばいに推移している。これは、新型コロナウイルス感染症対策により、イベント、人数、時間等を制限し、館を運営したことが要因と考える。
 今後は、イベント、人数、時間等の制限を無くした館運営を行うとともに、魅力ある児童館としてPRを図る必要がある。

施策 09 子どもが健やかに育つ地域社会をつくる

単位施策 02 子どもがいきいきと元気に遊ぶことができる環境を整備する

単位施策主管課【女性・子ども課】

成果指標の推移



No			No		
方向性			方向性		

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
 2つの成果指標は、基準値と比較して向上している。その理由として、児童館及び児童遊園等は、市及び町内会において、適切に維持管理されているため、子どもや親子が行きやすい場所・環境になっていると考える。
 子どもたちにとって身近な遊び場である児童遊園・ちびっこ広場の維持管理は、地域住民との連携が必要不可欠であるため、今後も引き続き町内会・自治会と協力し、安心安全な管理運営を行っていく。